

## 自治労県本部の春闘討論集会 (1/15)

サンデーモーニングなどにたびたび出演していた慶応大学名誉教授の金子勝さんの講演を聞きました。日本は世界3位の防衛費になった一方で、世界トップ100社に入っているのはトヨタただ1社にのみになった。日本の国債の52%は日銀保有、年金運用と合わせて6割が国機関の保有となっている異常さ。物価高でエンゲル係数が上昇、食料品の消費税を減税すべきなどの話しを聞くことができました。話の多くが議員として必要な情報でした。

## 静岡商工会議所賀詞交歓会 (1/7)

静岡商工会議所賀詞交歓会に参加し、徳川宗家19代当主となった徳川家広さんと1年ぶりに再開できました。上川陽子衆議院議員が久しぶりに参加したため、SPが多く、持ち物検査もありました。多くの方と意見交換でき、国政、県政の課題が確認できました。



徳川家広さんと



3.11を忘れないin静岡

## 杉山あつし プロフィール

- 1962年 10月31日生(駿河区南町生まれ)  
静岡学園幼稚園・富士見小学校・高松中学校卒業
- 1981年 静岡県高校卒業(16期生)  
静岡県職員に採用(民生福祉・税務に従事)  
(財務事務所、中部民生事務所、子ども家庭相談センターに勤務)
- 2012年 静岡県職員組合専従役員(11年7か月) 49歳時に県を退職
- 2019年 県議会議員選挙(駿河区)に初当選 現在2期目
- 2020年 産業委員会副委員長
- 2023年 文化観光委員会副委員長
- 2024年 文教警察委員会副委員長  
会派「ふじのくに県民クラブ」、静岡東高校後援会会長(現在)

## 編集後記

2/21に静岡東高の後援会理事会、PTA 役員会に参加。後援会は会長として、PTAは副会長として挨拶と議長をつとめ、挨拶の中で高校無償化の所得制限撤廃の動きと主権者教育の話をさせていただきました。宮田校長からは自動採点システムの実施状況などの報告がありました。後援会、PTAとも4月の総会で卒業となります。

兵庫県知事のパワハラ問題でメンタル疾患発生者や自殺者を公務災害(労働災害)で申請し、パワハラか否かを確認すべきです。知事からの職員への指示の多くは録音されているそうなので、対象者全員の申請を呼び掛けたいです。

東日本大震災・福島原発事故から14年、今年も3.11がやってきました。13:30から福島子ども支援募金の活動に参加、14:46には1分間の黙とうに参加しました。

## ■杉山あつし事務所

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13  
TEL FAX:054-282-0143  
携帯電話:090-1279-1443  
MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp



討議資料

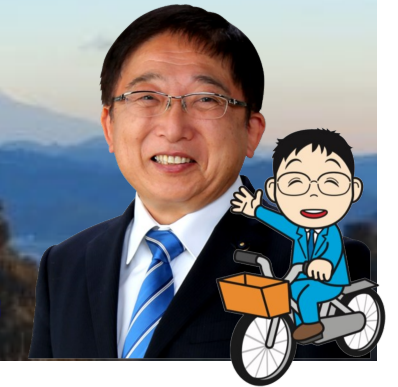
誰も置き去りにしない社会へ

# 杉山あつし だより

県政へのご意見をお寄せください

発行者：杉山あつし(静岡県議会議員)  
第24号(2025年3月31日発行)

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13  
電話 090-1279-1443 FAX 054-282-0143



## ご挨拶

今年の冬は予想以上に寒く感じました。特に正月明けと、2月中旬には寒波到来で真冬日となり、私の近所では連日氷が張りました。

1月は上京する機会が多い月でした。首都圏の静岡市関係者が集う「静岡市交流会」、「こどもの教育格差に関するシンポジウム」、令和7年度の地方財政計画を学習する「財政セミナー」、「地方×国政研究会」に参加し、2月県議会に向け学習しました。

2月県議会が無事に終了しました。今回は常任委員会での議員質問も多く、1日で終了する委員会が2委員会となるなど12月定例会よりも活発な質疑が行われました。地元静岡市の課題では、2/13に県政報告を兼ねて、富士見台でスマートインター周辺のまちづくりでの意見交換会を開催することができ、多くの意見をいただきました。また、街頭宣伝では静岡市の学校昼食の日数が年間180日間と全国平均よりの192日間よりも12回少なく、行事の予備日や午前みの授業で給食なしの日が多いことに対して、他県調査を行い全国平均並みに増加させることを訴えています。親負担の軽減が不十分ではないかと感じています。ぜひご意見をお寄せください。

2025年4月で2期目の折り返し。初心である「本当に困っている人の声を政治の場に届けたい」「労働者にもっとやさしい社会をつくりたい」「子どもが将来にわたって平和で安全な社会をつくりたい」を忘れず引き続き行動してまいります。



委員会室

## 静岡県議会 2月議会報告 (2/18~3/17)

### 注目した質問

- 県立野球場のドーム化はプロ野球の本拠地球場以外は失敗している。建設費高騰もあり、ドーム球場はあきらめる時期に来ているのでは。
- 健康寿命が全国1位となったが、その維持に向けた取組の考えは。
- 想定よりの15年早く進行している少子高齢化への県の対応について。
- 静岡県ブランドイメージを確立し、全産業で魅力を上げることが必要では。
- 鈴木知事の目指す県民幸福度向上のためには市町との連携の必要が大きいのでは。

### 注目した答弁

- 大学生Uターン促進策としての奨学金返済支援について、2026年度に向け5年間に限り県、市町、企業の3者で1/2を助成することで検討中
- 県内農業の地球温暖化に対応した取り組みとして、ほぼ100%輸入のアボカドの生産地を目指し、実証を開始する
- (道路陥没事故を受けて)県内の下水道の管路点検など適正な管理に努めている。路面下の空洞調査を実施していく。



静岡市役所前

## 県議会文教警察委員会の質疑

### ■ 教育関係

●学生服のブレザー化が進んでいるが、制服代を下げるとともに詰め襟服のように標準化し、また服の仕様を公開し、製造メーカーの参入を促すマスターメーカー方式を導入すべき。

●少子化でも小学生が自分で登校できるように小学校の統廃合は慎重にすべき。一方で過疎地域を除き1学年1～2クラスでさらに定員割れしている高校は統合を進めるべき。

●高校無償化は親負担の軽減の推進であり、PTA会費で図書館司書や事務員を雇っている県立高校が多いが、真の高校無償化となるよう、県で会計年度任用職員として雇用し、親負担を軽減すべき。

### ■ 警察関係

## ご存じですか？

## 届けられた スマホの電源を「すぐ切る」警察の落とし物対応

警察・交番はスマホが届けられたら、「着信やアラームがうるさいからすぐに電源を切る」対応をしています。

落とし主が他の携帯から、自分のスマホにかけてもつながらないし、携帯会社のGPSでの検索もできなくなります。スマホケースに本人と思われる複数の名刺がはいついていても、警察からは落とし主へは連絡しないそうです。警察HPの落とし物サイトを検索するしかありません。

### 皆さんはこのことを知っていましたか？

交番等で一日程度は電源を切らない対応はできないのか、の質問に対して、検証・検討するとの回答がありました。必死に探している方の気持ちに沿った対応すべきと考えます。

## リニアPTの県外視察(2/3.4)

会派の有志議員で長崎市を訪問。2024年10月にオープンしたジャパネットスタジアム・アリーナを見学。同じ敷地にサッカースタジアムとアリーナを建設。当初600億円の予定が1000億円要したこと。スタジアムにはホテル、オフィスが併設されていること。試合のない日も飲食店、お店が営業していて多くの客が来場しているそうです。1100人の雇用を創設している。ジャパネットの企業精神を深化された話を聞き取ることができました。

翌日はリニアPTでの鹿児島県北薩トンネル視察。2024.10.26にトンネル内が隆起、その後亀裂から大量の土砂が流入。現在も復旧の目途がたっていません。国のリニア専門家委員会で話題になったトンネルで、南アルプストンネルの問題点を確認する視察です。復旧工事の前提となる減水対策・水抜き導抗、流出としたヒ素を含む土砂の対策、4800mのトンネルの対応などを聞き取ることができました。雪のため、現地見学はできず、県庁舎で時間をかけて説明していただきました。



鹿児島県・北薩庁舎前

## 県職員組合の学習会で県政報告(1/28.2/5.7)

東部支部、西遠支部の春闘学習会の講師として、春闘と物価上昇の対策に触れながら、リニア新幹線への対応や人口減少社会での公務職場の影響、鈴木知事の動向などの県政報告を後輩の県職員に行うことができました。また、沼津財務、熱海財務を訪問し、銀行の収納窓口の廃止の代わりに設置された入金機を確認、職場課題について意見交換させていただきました。

## スマートインター周辺街づくりについて意見交換会(2/3)

富士見台1.2丁目の自治会役員経験者とボトムアップの会メンバーが参加し、周辺の交通対策、住民不在の進め方の変更、地権者と一般住民の考えの違い、富士山景観問題、大規模商業施設建設後の影響は大きいなどの意見が出されました。地元住民との話ができる場を設定するよう静岡市に求めていきます。



富士見台2丁目公民館

## 地方財政計画を学習(1/24・2/1)

1/24に自治体政策情報センター主催の第47回地方×国政策研究会、2/1に自治体議員連合主催の地方財政セミナーに参加し、総務省の幹部職員から直接、令和7年度の「地方財政計画」の説明を聞くことができました。地方財政セミナーでは、総務省自治財政局財政課長の神門純一さんから、与党税制大綱で給与所得控除と基礎控除がそれぞれ10万円の引上げ、子の給与収入の扶養対象を103万円から150万円になるよう新たな特別控除を創設する。地方財政は借入金(地方債残高)が平成16年をピークで減少している。DX、防災減災対策に措置を増やした。人件費増額を予想して給与改善費を計上した。教員の教職調整額の段階的引き上げ、小中学校の体育館の空調設置の促進などに対応したとの説明がありました。自治体議員として、国が財政措置をしている事業がわかり、重要な情報収集の場となります。

## 「実は大学生は困っているんです・大学生の貧困を考える会集会」(2/15)

講師の山形大学准教授でキャンパスソーシャルワーカー(CSW)として学生の相談対応している中澤未美子さんからのお話やグループワークで、以下の内容が報告されました。

- 大学生は国の宝
- CSWの役割、必要性が周知されていない
- 当事者の声を聴く活動が大切
- 大学生の実態を正しく知ってもらおう
- 立場により大きく異なる
- 授業料から食費まですべて自分で負担している大学生もいる
- 支援されている人はほんの一握り
- 希望する職業に就くには大学進学が必要で賢いものではない



静岡労政会館

## こどもの教育格差シンポジウム(1/22)

NPOキッズドア主催のシンポジウムに参加。こどもの貧困からの関心離れが起きている。こどもの権利条約についての認知度が低下。政府の政策が貧困なこどもの対策から一般・共通的な子育て支援に変化。子育て世代間の格差拡大。取り残された層への偏りがますます顕著になっている。などの問題点を聞くことができました。私が取り組んでいる大学生の生活困窮につながる課題を確認できました。